

企画・執筆者紹介 (五十音順)

飯島康輔 いいじま・こうすけ

中外製薬株式会社 ファウンデーションメディシン事業推進部 部長
1994年中外製薬株式会社入社、2002年より本社勤務、オンコロジー領域の医薬品ライフサイクルマネジメントを担当。2011～2013年、F. Hoffmann-La Roche Ltd.のバーゼル本社にて、オンコロジー主要製品のInternational Product Managerを担当。2017年からファウンデーションメディシンの国内事業立ち上げに従事。2018年より現職。

市川 仁 いちかわ・ひとし

国立がん研究センター研究所 基礎的臨床開発研究コアセンター (FIOC) センター長
1961年高知県生まれ。1989年東京大学大学院農学系研究科博士課程修了(農学博士)。1989～1993年埼玉県立がんセンター研究所、1993年より国立がん研究センター(当日は国立がんセンター)研究所、2013年より臨床ゲノム解析部門長、2019年より現職。

沖田南都子 おきた・なつこ

国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援部門研究企画推進部薬事管理室長/消化管内科
大阪府生まれ。1997年大阪大卒。大阪大学消化器内科関連病院での研修を経て2005年国立がん研究センター中央病院消化管内科研修医、2006年チーフレジデント。2009年から医薬品医療機器総合機構(PMDA)の審査専門員、2013年より国立がん研究センター中央病院消化管内科医員、2015年12月から厚生労働省大臣官房厚生科学課出向を経て、2017年6月より現職。専門は腫瘍内科学、臨床研究支援。日本臨床腫瘍学会協議員、保険委員会委員
これまでの著作に日本癌治療学会編『小児・思春期・若年がん患者の妊孕性温存に関する診療ガイドライン2017年版』(金原出版、2017年)など。

柿島裕樹 かきしま・ひろき

国立がん研究センター中央病院 臨床検査部
1969年生まれ、埼玉県所沢市出身。1991年東京電子専門学校臨床検査学科卒。1991年4月国立病院医療センター 臨床検査科 病理検査室、1996年4月国立大蔵病院臨床検査科病理検査室、2002年3月国立成育医療センター臨床検査部高度先進検査室(小児病理の遺伝子検査、遺伝学的検査、出生前診断検査などを専門)を経て2013年4月国立がん研究センター中央病院病理・臨床検査科病理・遺伝子検査主任(造血器腫瘍遺伝子検査、固形腫瘍遺伝子検査、がんゲノム医療の検査、遺伝子関連検査の精度保証)。
日本染色体遺伝子検査学会理事。ジェネティックエキスパート、遺伝子分析科学認定士(初級)、認定臨床染色体遺伝子検査師(遺伝子分野)、認定病理検査技師、細胞検査士。国際細胞検査士。

北野滋久 きたの・しげひさ

国立研究開発法人がん研究センター中央病院 先端医療科
先端医療開発センター新薬臨床開発分野・免疫療法開発分野
1972年大阪府生まれ。1998年三重大学医学部卒、同大学内科学第二講座に入局、同科関連病院にて一般内科研修を行なう。2001年、三重大学大学院医学系研究科入学、造血器腫瘍と固形腫瘍の診療を行ないつつ、新規がん免疫療法の臨床試験、患者免疫応答解析の研究に携わる。2005年、同大学大学院医学系研究科 遺伝子・免疫治療学講座の助手。2008年、同血液・腫瘍内科助教。2009年、Memorial Sloan-Kettering Cancer Center, Ludwig Center for Cancer Immunotherapy (Drs.Jedd Wolchok and James Allison)に留学、免疫チェックポイント阻害剤(抗CTLA-4抗体療法、抗PD-1抗体療法など)の新規がん免疫療法の開発、臨床試験登録患者の免疫応答解析を主としたトランスレーショナルリサーチ(TR)に携わる。2013年帰国、国立がん研究センター中央病院に赴任し、新規がん免疫療法をはじめ各種新規薬物療法の早期臨床試験、TRを行なっている。専門は腫瘍内科学、腫瘍免疫学、がん薬物療法(特にがん免疫療法)。

金正興 きん・まさおき

昭和大学病院 薬剤部
1983年岩手県大船渡市生まれ。2007年3月昭和大学薬学部卒業。2009年3月昭和大学薬学部大学院薬学研究科修士課程卒。2009年4月より昭和大学病院統括薬剤部。消化器内科・外科、呼吸器外科・内科、心臓血管外科、循環器内科、腫瘍内科などの病棟薬剤師を経て現在は血液内科病棟担当。専門は、がん化学療法における支持療法。
日本医療薬学会認定 がん専門薬剤師(JOP)、日本臨床腫瘍薬学会認定 外来がん治療認定薬剤師(APACC)。

國頭英夫 くにとう・ひでお

日本赤十字社医療センター 化学療法科 部長
1961年鳥取県生まれ。1986年東京大学医学部卒。国立がんセンター中央病院内科などを経て現職。日本臨床腫瘍学会協議員・日本肺癌学会評議員。
これまでの著作に里見清一名義で『偽善の医療』(2009年)、『衆愚の病理』(2013年)、『医師の一分』(2014年、すべて新潮新書)、『誰も教えてくれなかった癌臨床試験の正しい解釈』(中外医学社、2011年)など多数。

久保 崇 くぼ・たかし

国立がん研究センター中央病院 臨床検査科 臨床検査技師
1971年東京生まれ。1994年杏林大学卒。1999年に杏林大学保健学研究科にて博士号を取得し国立がんセンター研究所リサーチレジデントに。その後、国立医薬品食品衛生研究所、国立がん研究センターにおいて派遣研究員、研究協力員として従事。2014年、独立研究開発法人国立がん研究センター先端医療開発センターゲノムTR分野研究員を経て、現在は同施設中央病院臨床検査科臨床検査技師、研究所基盤的臨床開発研究コアセンター臨床ゲノム解析部門研究員、がん情報管理センター情報利活用戦略室室員を併任。
専門は分子生物学、分子遺伝学、ゲノム科学。

公平 誠 こうたいら・まこと

公平病院 腫瘍内科

1979年埼玉県生まれ。2004年に千葉大学を卒業し、千葉大学などでの研修を経て、2006年がん研有明病院化学療法科レジデント。2010年に国立がん研究センター中央病院乳腺・腫瘍内科がん専門修練医、2011年～同医員、2014年～希少がんセンター兼任、2016年より医療法人慈公会公平病院病院長。2017年千葉大学大学院卒業。専門は腫瘍内科であり、Community Oncologistとして活動している。これまでの著作に『新臨床内科学』（医学書院、2009年）、『What's New in Oncology』（南江堂、2015年）など。

清水 研 しみず・けん

国立がん研究センター中央病院 精神腫瘍科 科長

1971年石川県生まれ。1998年金沢大学卒。東京都立荏原病院での初期研修後、国立精神・神経センター武蔵病院精神科、東京都立豊島病院精神科にて精神科一般の研修を積む。2003年より国立がんセンター東病院精神科レジデントとなり、以降は精神腫瘍学を専門とし、がん患者およびその家族の診療に専心している。2012年より現職。『人生でほんとうに大切なこと』（稲垣麻由美著、KADOKAWA、2017年）に清水先生として登場。

清水久範 しみず・ひさのり

昭和大学病院 薬局

1996年、昭和大学薬学部薬学科卒。1998年、昭和大学薬学部修士課程修了。同年に昭和大学藤が丘病院薬局入局。2000年、昭和大学病院薬剤部異動。2009年、外来腫瘍センター専任。2010年より係長（現職）。東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成特別委員会副委員長。日本医療薬学会がん指導薬剤師。日本医療薬学会平成28年度論文賞受賞「進行再発大腸癌のFOLFIRI療法およびmFOLFOX6療法に対するIRIS療法の経済評価－費用最小化分析」医療薬2015;41:153-162。

白波瀬丈一郎 しらはせ・じょういちろう

慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室 特任准教授

1960年京都府生まれ。1986年慶應義塾大学卒。卒後、慶應義塾大学病院にて研修を経て、東京武蔵野病院、丘の上病院、慈雲堂内科病院に勤務。1996年慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室助手。2003年同医学部専任講師。2014年より現職。専門は力動精神医学、精神分析学。

鈴木賢一 すずき・けんいち

星薬科大学薬学部 実務教育研究部門 教授

1969年静岡県生まれ。1992年明治薬科大学薬学部衛生薬学科卒。沼津市立病院薬剤部に就職後2006年より静岡県立静岡がんセンターに勤務。2012年、がん研有明病院薬剤部副薬剤部長に就任。2019年より現職。臨床薬剤業務に携わるなかで、がん化学療法の指示療法に関する臨床試験や、免疫チェックポイント阻害薬関連の研究などに取り組んできた。所属学会は、日本肺癌学会、日本臨床腫瘍薬学会、日本医療薬学会など。

鈴木康介 すずき・こうすけ

昭和大学 病院薬剤学講座

1985年千葉県生まれ。2009年昭和大学薬学部卒。2011年昭和大学大学院薬学研究科修了。昭和大学病院薬剤師レジデントを経て2012年より昭和大学病院薬剤学講座助教。呼吸器内科、腫瘍内科、消化器内科・外科（消化器センター）などの病棟薬剤師を経験し現在の血液内科担当病棟薬剤師にいたる。専門はがん薬物療法。外来がん治療認定薬剤師（APACC）。

角南久仁子 すなみ・くにこ

1982年神奈川県横浜市生まれ。2001年に横浜市立大学医学部を卒業。横浜労災病院での初期研修、がん・感染症センター 都立駒込病院での後期研修を経て、2013年に呼吸器内科 がん専門修練医として国立がん研究センター中央病院へ。同センター研究所ゲノム生物学研究分野（河野隆志分野長）でゲノム解析を学んだのを機に、2015年よりNCCオンコパネルの臨床実装化プロジェクト（TOP-GEAR）に参画し、2015年7月より現職。各診療科の医師とともに、中央病院における遺伝子パネル検査の運用体制構築を行なっている。日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、がん治療認定医。

長沖優子 ながおき・ゆうこ

1978年石川県金沢市生まれ。2003年金沢大学医学部医学科卒。その後金沢大学付属病院、石川県立中央病院、富山県立中央病院、公立能登総合病院、福井県済生会病院、福井県立中央病院などを経て2011年から聖路加国際病院小児科で勤務。専門は新生児ですが金沢大学時代のわずかな知識を頼りに内分泌外来も担当するうち、内分泌障害をもつがん患者サバイバー患者を受け持つようになり現在英国の病院でlate effects 診療の実践を勉強中。

新納隼人 にいろ・はやと

シスメックス株式会社 LS臨床開発部 課長

1979年生まれ。2004年よりシスメックス社に入社。主に国内外の体外診断用医薬品の臨床開発から申請・承認・保険収載・プロジェクトマネジメントに従事。その後、研究開発企画、製品戦略、アライアンス業務を通じて、2016年よりがん遺伝子パネル検査の医療機器開発プロジェクトに従事。2019年より現職。

野村久祥 のむら・ひさなが

国立研究開発法人 日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部臨床研究課

1974年東京生まれ。1998年東京薬科大学卒、同年杏林大学医学部付属病院に入職。2009年3月慶應義塾大学大学院薬学研究科修了。2010年10月杏林大学医学部付属病院臨床試験管理室に配属。2012年4月同院薬剤部に配属。2013年9月国立がん研究センター東病院薬剤部外来化学療法主任。2019年4月日本医療研究開発機構 臨床研究・治験基盤事業部臨床研究課主幹。専門は、乳がん化学療法、消化管がん化学療法。日本臨床腫瘍薬学会理事、日本癌治療学会代議員、日本乳癌学会評議員、ISOPP理事、ISOPP research committee、ISOPP Biosimilar Task force。

畑中佳奈子 はたなか・かなこ

北海道大学病院 臨床研究開発センター

1975年神奈川県生まれ、札幌育ち。2001年、北海道大学医学部を卒業後、北海道大学医学部 分子細胞病理学講座 大学院に入学し、2005年3月博士課程を修了。2005年4月より北海道大学病院病理部助手、その後助教として勤務。2016年4月コンパニオン診断研究部門 特任講師。2017年マサチューセッツ総合病院神経病理部門に留学。帰国後、北海道大学病院 臨床研究開発センター 生体試料管理室（バイオバンク）に着任、現在にいたる。病理専門医/細胞診専門医。

藤宮龍祥 ふじみや・たつひろ

昭和大学 薬学部 病院薬剤学講座

昭和大学 藤が丘病院 薬剤部

1986年千葉県生まれ。2009年昭和大学薬学部卒、2011年同大学大学院薬学研究科博士前期課程修了。同年、昭和大学統括薬剤部 薬剤師レジデントを経て、2012年より昭和大学薬学部病院薬剤学講座所属、昭和大学病院に勤務。2016年博士課程修了。2018年日本医療薬学会 がん専門薬剤師、日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師。2019年より現職。担当領域は、腫瘍内科、呼吸器内科、血液内科など。

これまでの著作に『臨床腫瘍薬学』（分担執筆、じほう、2019年）など。臨床、教育、研究に情熱を注いでいます。趣味はミステル。

古田康之 ふるた・やすゆき

昭和大学病院 薬剤部（医療安全管理部門出向 医療安全管理者）

1974年三重県生まれ。2001年北海道薬科大学大学院卒。同年亀田総合病院薬剤部。2005年国立保健医療科学院安全管理研究科修了。同年亀田総合病院薬剤管理部兼医療安全管理室、2012年4月安房地域医療センター医療安全管理室（出向）、2015年名古屋大学医学部附属病院医療の質・安全管理部、2017年9月より現職。専門は医療安全管理。

元雄良治 もとお・よしはる

金沢医科大学 腫瘍内科学 主任教授

1955年石川県小松市生まれ。1980年東京医科歯科大卒。同年金沢大学第1内科入局、1984年米国テキサス州ダラス・ワドレー分子医学研究所研究員、1988年金沢大学がん研究所腫瘍内科助手、1992年同講師、2002年フランス・マルセイユINSERM U1068（文科省短期在外研究員）、2003年同助教授、2005年より現職。専門は、腫瘍内科学、消化器内科学、腫瘍細胞生物学、漢方医学。

これまでの著作に、『全人的がん医療：がんプロフェッショナルを目指して』（じほう、2007年）、『はじめの一步は絵で学ぶ：腫瘍学：知っておきたいがんの知識とケア』（じほう、2015年）、『まるごとわかる！がん』（南山堂、2017年）などがある。

山本 昇 やまもと・のぼる

国立がん研究センター中央病院 先端医療科 科長

呼吸器内科医長 先端医療開発センター新薬臨床開発分野長

臨床研究支援部門長併任 希少がんセンター併任

1966年生まれ、1991年広島大学卒。

肺がん、縦隔腫瘍などの胸部悪性腫瘍の内科的治療に従事するとともに、新規抗がん剤の早期開発（第I相試験）に一貫して取り組んでいます。また、ゲノムバイオマーカー探索体制をはじめとして臨床と基礎との連携構築にも取り組んでいます。